

# 北海道雪氷桜プロジェクトが 北海道マラソンを2種の花で応援

北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会(委員長・

越智文雄)あかりみらい社長)は、雪氷エネルギーを活用した、希望の桜

で世界のアスリートを出迎えた昨年の東京オリンピック・マラソン競技に続き、8月28日に行われた北海道マラソンでも桜とひまわりで2万人のランナーを応援した。

東京オリンピック・マ



▲平岸ハイヤー本社前で地域の住民が応援した

ラソン競技での応援を「市民活動としてのレガシーにしたい」と北海道マラソンでも行った。

用意したのは9自治体と北海道神宮から寄せられた桜の枝と当別町のひまわり。平岸ハイヤー前に集まった平岸地区の住民が花を振って、ランナーを元気づけた。

「応援に来てくださった方から『私にもその花ください』と声をかけられ、

中には昨年の東京オリンピックでの応援を覚えておられる方もいらっし

やいました。ありがたいですね」と事務局の平田順子さんは言い、

「ランナーの方にも喜んでいただけたいと思います。『きれい』とか『フローロードだね』とか、走り去りながら声をかけてくださいました。拍手をしながら通過された方もいらっしやった。応援が

終わると、皆さんに花をお持ち帰りいただいたのですが、『造花ですか?』という質問に、雪蔵で保管した雪氷桜をお伝えすることができ、そうして少しずつ皆さんの理解が深まっていくことに喜びを感じました」と笑みを見せた。

## 全盲のヴァイオリニスト 穴澤雄介トーク&ライブ

あかりみらいの協賛で10月18日開催

全盲のヴァイオリニストで作曲や講演活動もこなす穴澤雄介氏が札幌にやってくる。10月18日

時から、南4西3ニュー北星ビル7F「ミュージックパブはくもに」でトーク&ライブを開く。

穴澤氏のオフィシャルファンクラブの事務局F UJIYAMA COMが

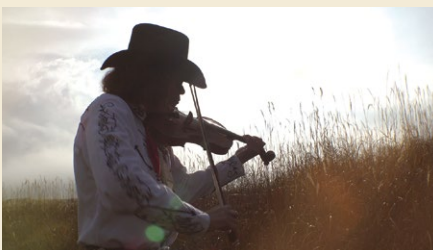
主催し、あかりみらいが協賛する。

このほか、来札中に札幌市の盲学校の訪問演奏も予定している。

穴澤氏は昨年の東京オリ・パラ、今年2月の冬季北京オリ・パラのNHKユニバーサル放送で、スポーツ好き障がい者としてレギュラーコメントターを務めた。

底抜けの明るさにファンは多く、美しい自作曲の数々は「心と手がつながった演奏」と評されている。

札幌でのライブは2030年冬季五輪招致を応援するため、新たに編曲した『虹と雪のバラード』を初演予定だ。



▲ダイバーシティを体感するミュージシャンとしても活躍する穴澤雄介氏